

令和8年1月31日現在	前月比
世帯数	2,839戸 (-6)
男性	3,586人 (-3)
女性	3,874人 (±0)
合計	7,460人 (-3)

発行/荘原コミュニティセンター  
出雲市斐川町荘原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

No.226  
2026.3.19  
(令和8年)

# 響き

つながる荘原 笑顔の未来  
活かそう 人を 歴史を 資源を

1/23  
(金)  
東部保育園

2/6  
(金)  
荘原保育園

## 保育園のこどもたち との味噌作り 自主企画事業

## こども倶楽部

今年もこの季節がやってきました!「こども倶楽部」の部員とこどもたちの味噌作りです。外には雪が積もっていましたが、味噌作りの会場はこどもたちの熱気に満ちていました。どのこどもも張り切って味噌作りに取り組み、共に良い時間を過ごすことが出来ました。

一人の部員さんの言葉です。「夏の水やりがしんどかったけど、今日のこのこどもたちの笑顔を見たら、そんな大変な思いも吹き飛んだよ」と。そうなんです。この味噌作りに使用した大豆は、「こども倶楽部」の部員さんのご尽力によってあの酷暑と日照りを乗り越えた大豆なのです。「こども倶楽部」の大豆を慈しむ気持ちと、こどもたちの楽しむ気持ちが加わったこのお味噌、間違いなく美味しい自慢のお味噌です♪

東部保育園



味噌練り様をぐるぐる



味噌玉作り、楽しいね♪

狙いを定めて…味噌玉をたろに入れます



荘原保育園



こうじと塩を混ぜています



ケーブルテレビの取材を受けたよ

かんばれ! よいしょよよいしょ



2/28  
(土)

# 子どもクッキング教室 お寿司? ケーキ? 春らしい鮮やかさ



荘原子ども教室

荘原地区青少年育成協議会  
会場: JAしまね「ふぁみーゆ」

この日のメニューは、「そぼろのちらし寿司ケーキ」「ぼかぼか豆乳スープ」デザート  
の「チョコレート」です。JAしまね「ふぁみーゆ」を会場に、荘原小学校4年生以上11  
名の参加で楽しく行いました。

今年度も計3回のクッキング教室を開催しました。福島伸子さん、青野典子さん、  
岡初枝さん、小松原千恵子さんの4名の講師の方々には、事前のメニュー決定や準備、  
最後の片付けまでご協力いただいています。今年度も大変お世話になりました。



## 長年参加した6年生の子どもたちの声

- ・料理は、やりがいがあっていい。大変な時もあるけど、出来上がった時のうれしさや楽しさがあるから好きです。
- ・毎回参加しました。料理をやっていて楽しいです。いろいろな料理をみんなで一緒に作ることができて良かった。



1/28  
(水)

# 蕎麦打ち体験 自主企画事業 美味しい蕎麦が完成しました!



ふれあい交流部

「ふれあい交流部」の部員さんから、地域住民に呼びかけて蕎麦打ちをして交流を深めたらどうか、との声上がり、蕎麦打ち体験を実施しました。

当日は荘原コミセンで蕎麦打ちの活動をしておられる「きょうばくの会」から4人を講師に迎えて、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で、蕎麦打ちを行いました。

最初に蕎麦打ちの基本工程の説明を受け、実際に蕎麦打ちを見せていただきました。

その後、参加者が「きょうばくの会」のみなさんから指導を受けながら実際に蕎麦打ちを体験しました。

ほとんどの参加者が初めての蕎麦打ち体験でしたが、みなさん手際よく打っておられました。また、普段あまりコミセンに来られない方の参加があり、交流ができたこともこの事業を実施した成果でした。



そうそう  
その調子!



2/28  
(土)

## 環境講演会 & 古布収集

環境福祉部

今年度の講演会は、「しまね環境アドバイザー」の石原孝子さんを講師にお迎えして、クイズを通して地球温暖化と省エネについて考えるお話をさせていただきました。

また「やまももの会」が長年行っている古布収集を今年度も行いました。みなさんから寄せられた古布やタオルなどは庄原地内3ヶ所の福祉施設(社会福祉法人金太郎の家、グループホーム萌、デイサービス向日葵の家)に寄贈しました。



2/26  
(木)

## 「やきいも講演会」

自主企画事業  
講師：福田豊さん

## こども倶楽部



「こども倶楽部」は、毎年、こどもたちとさつまいもを育てています。春には苗植え、秋には収穫、そしてそこで収穫したさつまいもをやきいもに

します。このさつまいもは、「さつまいも博士」こと福田豊さんに譲っていただいている「紅はるか」です。

今年は、毎年お世話になっている福田豊さんをお招きし、「やきいも講演会」と題して、さつまいもについて語っていただきました。講演会では、福田さんのさつまいも愛が炸裂♡栄養学的な話に始まり、いもづるの活用法、教員として体験した面白エピソードなどなど、出雲弁で次々と繰り出される福田節に、笑いの絶えない講演会となりました。

また、今回の講演会の目玉、福田さん自ら焼いてくださったやきいもは、ねっとり濃厚で甘く、参加した皆さんも「美味しいね」と舌鼓。美味しく楽しくためになる講演会でした！



わっとなりあま〜い!!



蜜がしみ出た美味しいやきいも

2/26  
(木)

ピカピカにするぞ!!

## 庄原駅キレイ

### 斐川東中学校有志のみなさんありがとうございました!



冷たい風の吹く中、斐川東中の有志の皆さんが地域に貢献しようと、JR庄原駅の清掃奉仕活動に取り組みました。窓や壁の拭き掃除に、くもの巣取り等丁寧に一生懸命掃除し、おかげさまで駅舎はピカピカになり、とても気持ちよくなりました。東中の皆さん、寒い中ありがとうございました。

きれいに  
なりました!!



1班 1/13 (火)  
2班 1/15 (木)  
3班 1/23 (金)

## 新年会

～雅な琴の音色を聴きながら～

ふれあいサロン  
おいでませの会



「おいでませの会」では、今年度も班ごとに新年会を行いました。

お正月の雰囲気味わいたいと抹茶を立てていただきました。また、アトラクションとして「伊波野琴の会 菜の花」

のお二人に「三段の調べ」「さくら舞曲」「花影変奏曲」など、お正月にふさわしい雅な琴の演奏を披露していただきました。

参加者からは“初めて琴の演奏を生で聴き、とても感動した”、“実際に琴を弾かせてもらい嬉しかった”などの感想がありました。気持ちも新たに「おいでませの会」をスタートすることができました。



1班 2/10 (火)  
2班 2/19 (木)  
3班 2/20 (金)

## 荘原小学校1年生との昔遊び交流

～今年も元気に楽しく交流できました～



今年の昔遊び交流は、今までより一段と交流を深めたいという「おいでませの会」側の要望として、すごろく、かるたなどを提案しました。小学校もその思いを汲んでくださり、「ふれあいすごろく」(子どもたちの手作り)や「かるた」で遊び、交流を深めることができました。

「やってみよう」のダンスで元気をもらい、「ありがとうの花」の歌で優しさを受け取ることができた良い交流になりました。

クラス数の関係で1班のみ別の内容となり、戦争の語り部ボランティアの須田英典さんを講師に迎え、斐川の戦時中の様子(学童疎開、大社基地、山陰での空襲被害など)をお話していただきました。

初めて知ることたくさんあり、斐川で戦争の被害が実際にあったことを忘れてはならない、伝えていかないといけないと感じました。



1/16 (金)

## 荘原コミセン自衛消防訓練の実施

今年度は全国的に見ても火災が多く、防災無線や消防団の皆さんによる見守りや注意喚起がおこなわれています。近隣でも火事が多く発生していることもあり、より真剣な気持ちで、この日コミセンを利用していた小学生の皆さんと消防訓練を行いました。訓練後、消防用設備点検業者の方の指導の下、実際に消火器を使って放水体験を行いました。日頃小学校でも訓練を行っているようで、冷静でなおかつ手慣れた手つきで消火器を扱い、上手に放水を行っていました。その後、消火器の成分についてや初期消火の仕方について学びました。訓練の内容を反省し、いざという時に役に立てていきたいと思えます。



2/2  
(月)

## 接ぎ木講習

この日、福島博さんを講師に、接ぎ木講習会を開催しました。まずは座学で接ぎ木について学び、いざ実践。これがなかなか難しい作業で、みなさん四苦八苦しておられました。

「Showバラの会」では、四季を通してバラに関する様々な講習会を実施しております。バラについて学んでみたいという方はぜひ「Showバラの会」の講座にご参加ください。



3/2  
(月)

## 薔薇の冬剪定と追肥

春が待ち遠しくなるような寒風の中、福島博さん指導のもと、総勢16名で、荘原コミセンの薔薇の冬剪定講座と追肥作業を行いました。

毎年恒例となった「斐川バラのオープンガーデン」は、5月16(土)・17(日)、23(土)・24(日)の開催予定で、荘原コミセンもオープンガーデン会場の一つです。そしてこの度、「斐川バラのオープンガーデン」が「第33回しまね景観賞『まち・みどり・活動部門』優秀賞」を受賞されたとのこと。個人庭、公共施設、事業所を含む地域ぐるみの取り組みが高く評価されたそうです。本日の剪定により、ちょうど5月頃に見頃を迎えることとされます。みなさんどうかバラを見に荘原コミセンまでお越しくださいね。



## 写真でたどるあの日の荘原

Vol.12

### まちづくり部

昭和12年(1937)3月、荘原小学校改築記念に地元宇屋谷の教育者・錦織竹香先生の寄贈により、台石と銅像が建立されました。感恩奉仕の報徳精神を校訓とし、模範とする人物として二宮尊徳の像が選ばれたと言われています。

初代の銅像は戦争中の金属供出のため、台座のみが残っていました。昭和24年(1949)9月、荘原小PTAが誕生したのを機に来待石による座像が建立されました。

昭和24年(1949)に建立された二代目尊徳像が来待石のため損傷し原型をとどめなくなる恐れがあったので、昭和60年(1985)3月に荘原小PTAの呼びかけにより銅像が再建され今日に至っています。

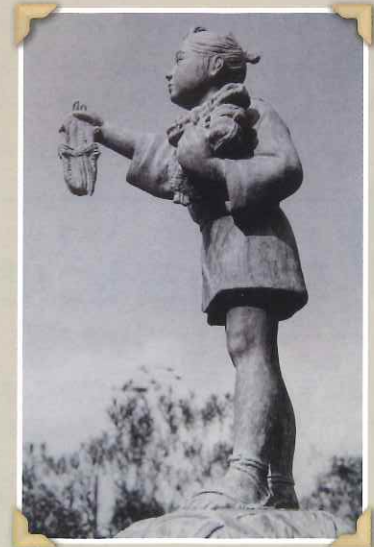
二宮尊徳さんと言えば、背中にたきぎを背負う姿が一般的ですが、わらじを持っている姿の像は全国的にみても、大変珍しい像です。



初代二宮尊徳像



二代目二宮尊徳像



三代目二宮尊徳像

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

## 退職にあたって

私事ではございますが、この度、定年を迎え、コミュニティセンターを退職することになりました。令和元年度から7年間、地域のお役に立てているのか自問自答の日々でしたが、地域の皆様に温かく支えていただきながら、コミュニティセンター活動に携わることができましたこと、心より感謝申し上げます。過ぎてみれば、あっという間の7年間でした。5つの専門部の活動や自治協会の事業、市の同和教育研究指定事業、コロナ禍での活動、文化祭、荘原夏祭り花火の夕べ、夏休み子ども事業など、皆様と一緒に考え、計画し、準備に汗を流し、活動できましたことは、かけがえのない思い出となりました。コミュニティセンターに勤めたからこそ出会うことができた方々や出来事は私の財産であります。本当に楽しい7年間でした。

これからは、地域の一員として、微力ながら地域のお役に立てればと考えております、引き続きよろしく願いいたします。長い間、本当にありがとうございました。

センター長 原 悟司

## 退職のごあいさつ

私事で恐縮ですが、この3月末日をもちまして12年間勤務した荘原コミセンを退職することになりました。

これまで、夏まつりや文化祭、こどもマルシェ、子ども羽根の盆踊り、畑の作業、タウンミーティングなどたくさんの事業やイベントに取り組んでまいりました。中でも小学生や中学生の皆さんが生き生きと活躍する姿は地域の大きな力であり、私にとって何よりの喜びでした。

事業を進める中で、悩むことや大変なこともありましたが、多くの皆様が陰に陽に力を尽くしてくださり、地域の皆さまの温かいご理解とご協力に支えられて、ここまで歩んでくることができました。

また、センター長をはじめとする職員5名で、喜びや苦労を分かち合いながら力を合わせて取り組んだ日々は、私にとりましてかけがえのない時間でした。振り返るとさまざまな情景が思い浮かび、懐かしさで胸がいっぱいになります。どれも忘れることのできない大切な時間でした。心から感謝しています。

ここでの出会いと経験、そして交わした懐かしい言葉の一つひとつは、これからの人生において心の温もりとなり、大きな支えとなっていくことと思います。

これからも地域が活気に溢れ、皆様がますます活躍されますことをお祈りいたします。

長い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

チーフマネジャー 池淵 陵子

## Information 荘原コミュニティセンターよりお知らせ



### Instagram 公式アカウントのご案内

荘原コミセンで開催するイベント等の情報を発信しております。是非皆さ  
んで登録ください。



SHOUBARACC\_OFFICIAL



## ご寄付御礼

香典返し 金一封

原田 清司様(大井自治会)

飯塚 正明様(栄町自治会)

大場 良美様(重原自治会)

高橋 政男様(前原自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。